

「ムライティブ県コミュニティ再建及び帰還漁民の生計向上事業（第2年次）」

事業実施前の様子

(ア) コミュニティの再建支援

① コミュニティセンターを利用した各種プログラムの実施



第1年次に村の中心となるコミュニティセンターをマリタイムパットゥ郡の3村（コクトルワイ村、コクライ村、コーヴィルクディルプ村）に建設



建設したコミュニティセンターで、シンハラ人・タミル人両民族交流のためのプログラムに参加する子供たち（コクライ村）



村の組織の会合にもセンターのホールは利用されている（漁協の月例会合。コクトルワイ村）



コミュニティセンターの運営指導。適正に会計簿がつけられていることを確認するスタッフ（コーヴィルクディルプ村）

(イ) 生活再建支援

① 漁業協同組合の運営教育



定期的に漁協を訪問し、運営が適正に行われていることをスタッフが確認（コクライ村）



各漁協で月例会合が定期的に行われるようになった（カルナドゥカーニ村）

「ムライティブ県コミュニティ再建及び帰還漁民の生計向上事業（第2年次）」
事業実施前の様子

② セリ場の建設



マリタイムパットゥ郡のほとんどの漁村で、漁獲は漁協ではなく仲買人を通して売買されているため、漁民が得る収入は低く、漁協にも資金が蓄積されない



既に漁協を通してセリが実践されているカラパドゥ・ノース村には、セリ場の建物がなく屋外で取引が行われているため、雨季には活動が困難である

③ 「獲る漁業」から「育てる漁業」への移行



帰還した漁民たちは、遠洋に出られる設備がないため、沿岸漁業、ラグーン漁業に収入を頼っている。より多くの漁獲を得るため違法な漁法、漁具を使っている漁民もあり、漁業省県事務所や NGO が取り締まり、啓発プログラムを行っているものの、完全にはならず、沿岸・ラグーン資源の枯渇が懸念される



漁民への聞き取り、他県の取り組みの視察を実施し、マリタイムパットゥ郡での養殖実施の可能性を調査